

2021年3月期 決算説明資料

東証二部：8226
株式会社理経



会社概要

商 号	株式会社 理経 (RIKEI CORPORATION)	
本社所在地 (2021.5.10現在)	東京都新宿区西新宿三丁目2番11号 新宿三井ビルディング二号館 〒160-0023	
設 立	1957年6月8日	
資 本 金	34億2千6百万円	
決 算 期	3月	
従 業 員 数	136名	
役 員 (2021.6.29現在)	代表取締役社長 常務取締役 取締役 取締役 取締役 取締役(社外) 取締役(社外) 常勤監査役 監査役(社外) 監査役(社外)	猪 古 長 小 伊 石 秋 古 坂 畑 田 耕 川 柳 達 澤 橋 元 谷 哲 直 耕 章 柳 達 澤 橋 元 谷 樹 児 詞 誠 伸 久 明 信 一 郎 創 一 郎 誠 介 久 明 信 一 郎 創 一 郎 伸 太 郎



事業内容

当社は3つのコアビジネスを通じ、
国内外の最先端技術とソリューションを
お客様のニーズに沿って提供しております

〔〕 ネットワークソリューション

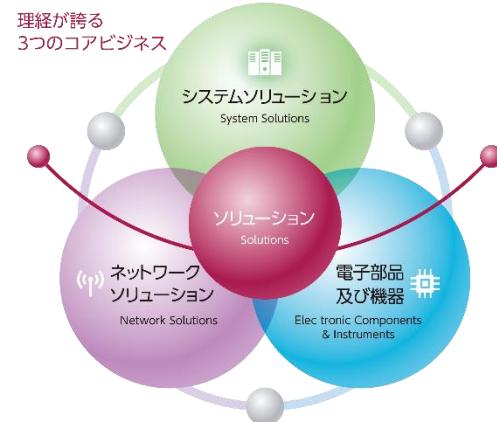
四半世紀にわたり衛星通信関連事業を行ってきた実績から、放送、通信、自治体などのお客様に対し、情報の伝送、配信をキーワードとした最新鋭のソリューションをご提供しております。

長距離無線LAN

これまで長く販売をしてきた4.9GHz帯の長距離無線機に加えて、昨今の通信の大容量化に対応する60GHz、70/80GHz帯の無線機の利用が増加しています。また、無線・アンテナ技術の進歩により、4.9GHz、60GHzともに設置場所が柔軟になり、移動中の使用が可能となったため、重機の遠隔操作など様々な用途に広がりをみせています。いずれの無線機も公衆網を経由せず自前のネットワークが構築できるためBCP対策に最適です。企業、自治体、通信事業者と様々な業種でご利用いただいています。



防災情報の伝送に使われている無線LANシステム



〔〕 システムソリューション

民間企業、大学、官公庁、研究機関に対し、デジタルマーケティング、情報セキュリティ、IT基盤、CAD、そして新たなビジネス分野としてIoT、VRなども含めたソリューションを顧客のニーズに合わせたトータルシステムとしてご提供しております。

画像解析AIソリューション

工場等での検査工程における目視検査や設備の検査作業をAIが代替しコストや時間を削減します。また、ヒトやモノの動きをトラッキングする動線の分析により、交通機関や商業施設等の混雑率の把握、スタッフ配置の効率化が可能となり、コロナ禍では密の回避に貢献します。今後は社会インフラでの安全管理や製造業での目視検査員の人手不足解消に活用が見込まれます。



ドライブスルーにおける画像解析AIによる識別

〔〕 電子部品及び機器

産業機器分野から、自動車、医療、光通信、防衛などの分野に至るまで、幅広く電子部品や電子機器、機能性材料をご提供いたします。扱う製品の専門性の高さから、利用目的に合わせた最適な提案が可能です。

航空機関連整備及び部品

多くの海外修理業者との提携により、多種の航空機に対応した、海外修理及び来日修理、それらに関連するコンポーネンツの輸入販売を実施しています。また、近年島嶼*防衛の必要性の高まりにより、関連航空機の運用機会が多くなっており、修理等の需要が増加傾向にあります。そのなかで、航空機搭載用捜索レーダーにおいては、高度化計画により、機器の改修及び追加等の需要に対応しております。※島嶼(とうしょ)：大小のしまじま



航空機用搭載捜索レーダー

連結子会社

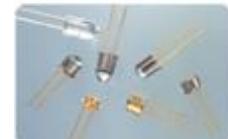
リケイ・コーポレーション(H.K.)リミテッド

事業内容：電子部品及び機器事業

- 中国、香港市場における電子部品および機器の輸出入販売を行っています。



COB型照明用LED



センサー用LED

株式会社ネットウェルシステム

事業内容：システム開発・サービスの提供

- 企業向けインターネットビジネス支援事業を推進し、統合型ネットマーケティングソフトウェア「MarkOne」を展開しています。



フォームも会員サイトも
作るの難しそう
統合型ネットマーケティングツール
MarkONE シリーズ

株式会社エアロパートナーズ

事業内容：航空機及び航空機器部品の販売・リース・カスタマーサポート

エアロパートナーズ・アメリカ, Inc.

事業内容：航空機及び航空機器部品の輸出入

- 航空機、防衛関連機器などの輸入販売に留まらず、自衛隊に配備されている 航空機機材のメンテナンスなど技術的なサポートを実施しています。



自衛隊機



ヘリコプター

2021年3月期（第64期）業績ハイライト

- ・コロナ禍で先行き読めず、通期業績予想を外部公表できずにスタート。
- ・下半期より民間市場が急激に回復の兆しを見せ始める。
- ・国内外移動、展示会参加、会合参加等の自粛により経費削減。
- ・結果として想定以上の業績を残すことができた。

■ 売上高

10,139百万円
(前期比1.3%減)

■ 営業利益

216百万円
(前期比296.1%増)

■ 経常利益

226百万円
(前期比314.2%増)

■ 親会社株主に帰属する 当期純利益

157百万円
(前期比276.0%増)

2021年3月期（第64期）連結業績

(単位：百万円)	2021年3月期	2020年3月期	増 減
売上高	10,139	10,275	▲136
営業利益	216	54	+ 161
経常利益	226	54	+ 171
親会社株主に帰属する 当期純利益	157	41	+ 115

主要事業 セグメント別詳細



- ・ 売上高は総務省向けシステム更新の大型案件があった前期に比べ減少。
- ・ 文教ビジネスにおいてインフラ環境整備及び経費の減少により利益は増加。

(単位：百万円)	2021年3月期	2020年3月期	増 減
売 上 高	4,088	4,584	▲495
営業利益	114	46	+ 68

主要事業 セグメント別詳細



・大型衛星通信案件の失注、地方自治体向けの防災情報システム案件予算失効や延期等のため、低調な結果となった。

(単位：百万円)	2021年3月期	2020年3月期	増 減
売 上 高	1,093	1,426	▲333
営業利益	▲48	24	▲73

主要事業 セグメント別詳細



- 連結子会社エアロパートナーズにおいて防衛省向けビジネスが好調。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、非接触カード向け導電性接着剤が増加。

(単位：百万円)	2021年3月期	2020年3月期	増 減
売 上 高	4,957	4,264	+ 693
営業利益	149	▲16	+ 166

中期経営計画

目指す姿

お客様に最適なソリューションを提供し、
ともに発展していくオンリーワンソリューションパートナー

中期
経営計画

中期計画目標

売上高
125億円

営業利益
2億5千万円

65期事業計画

売上高
110億円

営業利益
2億円

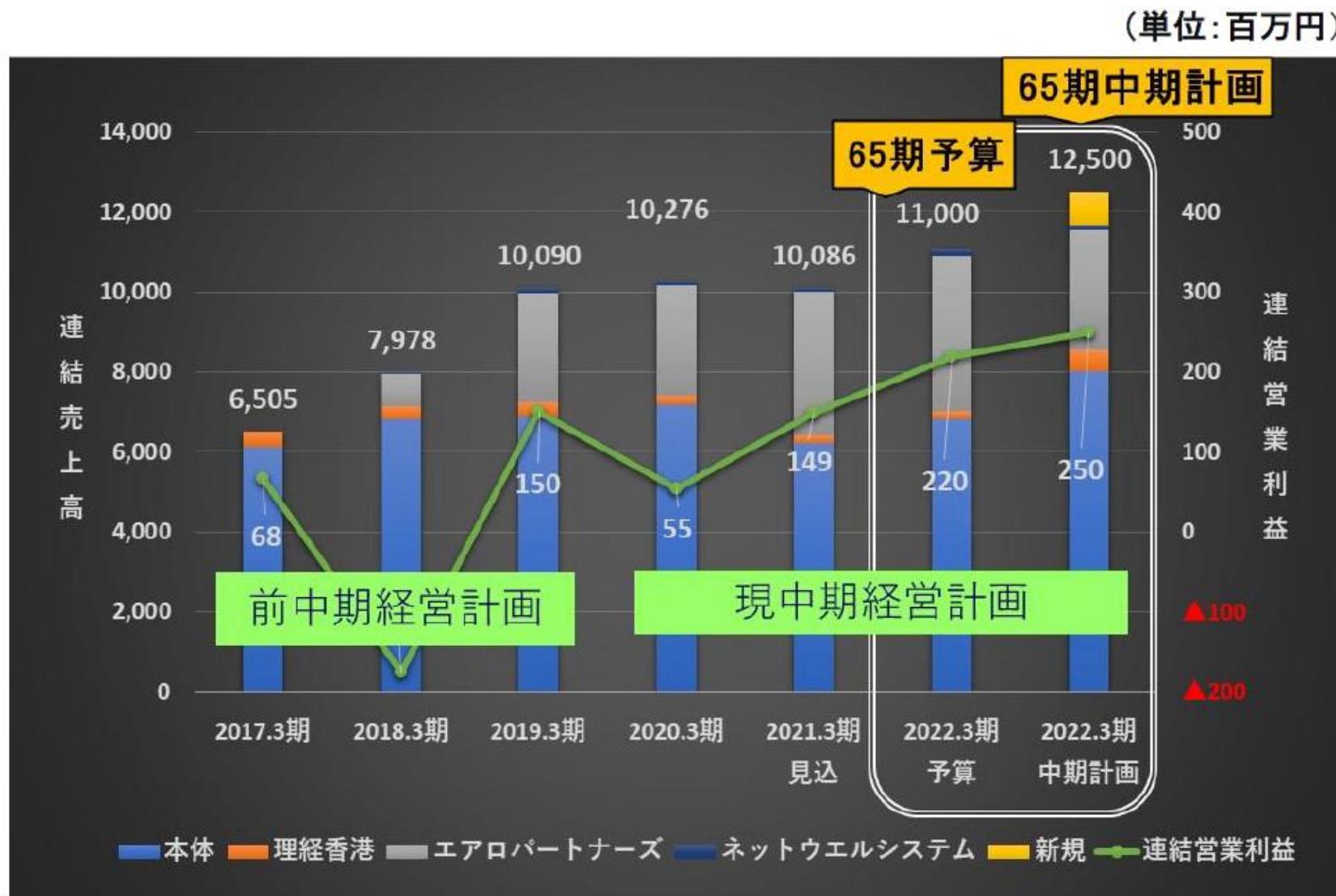
基本方針

最終年度

- ①事業基盤の強化と安定化
- ③組織の再編成と経費の最適化

- ②人材育成と職場環境の改善
- ④認知向上と社会貢献

中期経営計画 進捗状況



注力事業分野

データ分析
未来予測

自動運転
画像認識

新たな注力事業分野
AI、IoT、
5G通信、VR/AR

画像配信
防災情報

産業用デバイス
ウェアラブルデバイス

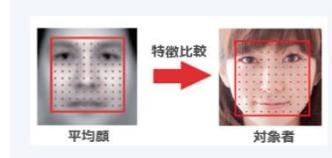
トピック (AI : 画像認識技術)

高精度画像認識エンジンを利用したアプリケーション開発

BtoB 向け

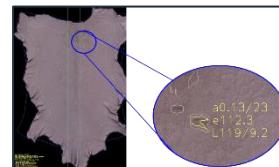
安否確認システム

- ・大規模工場等で、被災時の社員安否を顔認証で確認。
- ・メールによる安否確認と連携して総合的な安否確認システムを構築。



製品の外観検査

- ・革製品の等級判断の自動化など、製造業における製品の外観検査に利用可能。



革製品の等級判断

BtoC 向け

ARを活用したバーチャルメイク

- ・独自の顔認識技術で、顔の各パーツを正確に認識。
- ・鏡の前でメイクアップを行っているようなリアリティの高いシミュレーションを実現。

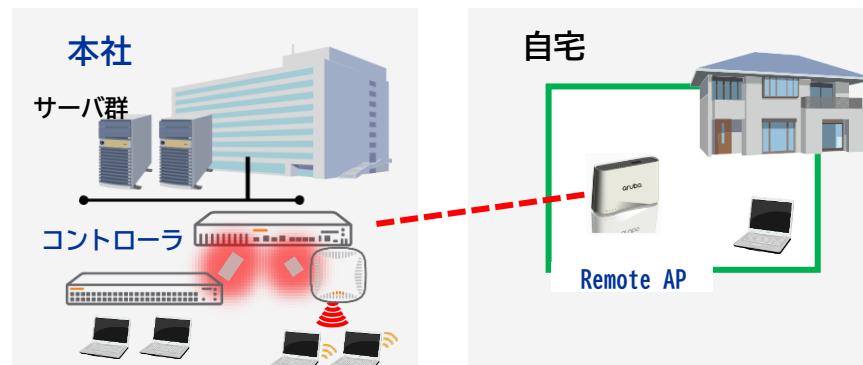


トピック (IoT：無線ネットワーク)

Wi-Fi～衛星通信まで幅広いIoTソリューション

Aruba Remote AP Wi-Fiパッケージ

- ・コロナ対策 テレワーク環境を実現。
- ・設定済みの無線アクセスポイントを自宅で利用し、社内と同じネットワーク環境を容易に実現。



IoT用通信モジュール & ソリューション

- ・衛星通信、広域無線を利用し、地球上どこでもデータ収集が可能。
- ・遠隔作業支援での活用。



トピック（5G通信：機能性接着剤、高速無線インフラ）

通信インフラでの採用

光通信分野 (機能性接着剤)

- 光通信のキーパーツに長く採用されており、量子コンピュータ、6Gなど次世代技術への開発にも基礎技術として貢献。



5G通信バックホールでの提案 (高速無線インフラ)

- キャリア向け5Gバックホール回線用として、超高速の10Gbps対応の無線通信インフラを実証試験中。



トピック (VR : シミュレーション)

VRを活用してAI学習用教師データを生成

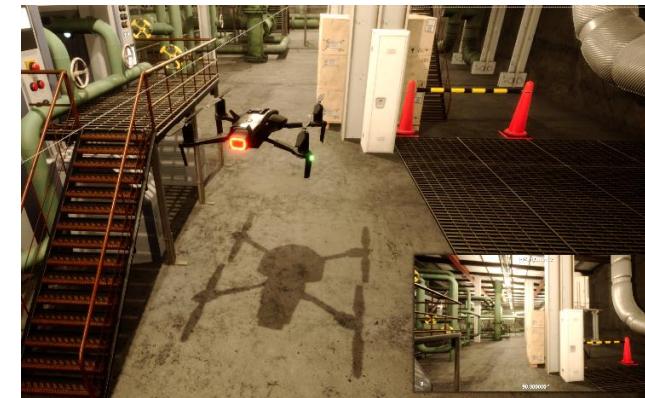
自動運転への活用

- ・自動運転用AIの教師データをCGを活用して生成。
- ・路面や車両運動を精緻に再現し、大手自動車メーカーからも高い評価。



国産ドローン開発への活用

- ・ドローンの自律飛行を実現するため飛行のテストデータをVR空間で取得。



IR情報発信について

公式ウェブサイト及びIRメール配信サービスにて
最新のIR情報をお届けします。

公式ウェブサイト



スマートフォン用
ウェブサイト▼



IR情報 <http://www.rikei.co.jp/>

IRメール配信サービス開始

理経の最新IR関連ニュースをご覧頂けます。登録は以下よりお願いいたします。



rikei.co.jp/irml

